



師

十字架と私

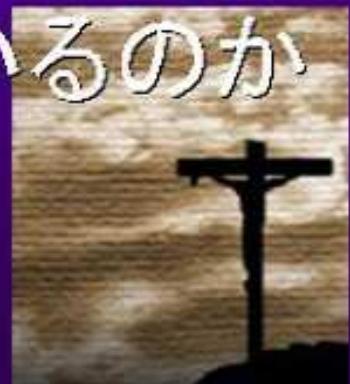
～2005年受難節～





十字架という事実

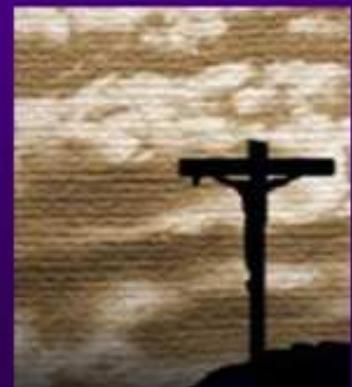
- 約2000年前に、パレスチナ地域にイエスという人物がいたことと、彼が十字架刑に処せられて殺されたことは歴史的事実である
- イエスの十字架という事実は、わたしにとってどんな意味を持っているのか





イエスは十字架によって

- ・何かを成し遂げようとした
- ・何かを伝えようとした





「それから、イエスは皆に言
われた。『わたしについて来た
い者は、自分を捨て、日々、自
分の十字架を背負って、わた
しに従いなさい。』

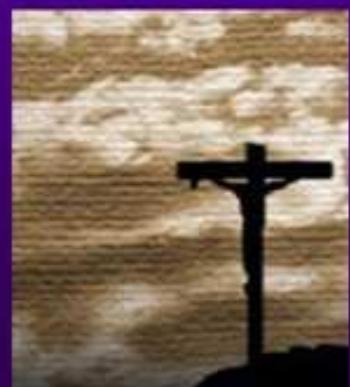
＜ルカ福音書 9:23＞





自分を捨てる

- ・プライド：イエスは神の位を捨てた
- ・夢や願い：イエスは王になることさえ拒んだ
- ・自分自身：イエスは命まで捨てた



自分の十字架を背負う

- ・「**十字架**」: 不都合・困難・苦しみ
- ・「**自分の**」: 人それぞれの十字架
- ・「**背負う**」: 自分の意志で担ぐ



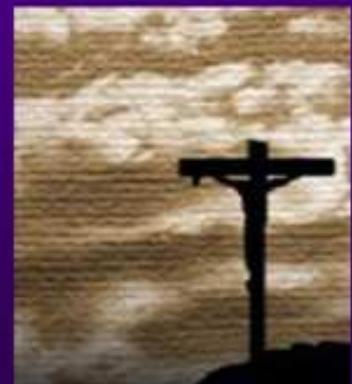
イエスに従う

- ・「日々」は「自分を捨てる」と「自分の十字架を背負う」の両方にかかる
- ・何を捨て、何を背負うのか。
 - ・普通は十字架を捨て、自分自身を背負って生きる
 - ・イエスは、「わたしに従いなさい」と言い切れるお方である



十字架を背負った男

「そこへ、アレクサンドロとルフォスとの父でシモンというキレネ人が、田舎から出て来て通りかかったので、**兵士たちはイエスの十字架を無理に担がせた。**」<マルコ15:21>





イエスの恵みの重さ

- ・自分を捨て、自分の十字架を背負うとき、師であるイエスの恵みの重さを感じる
- ・十字架にかかるくださったのはイエス御自身である

